

INVESTMENT STRATEGY MONTHLY <投資戦略マンスリー> DIGEST



2025年7月

● 金融市場（6ヵ月後）見通し



株式

	直近値	6ヵ月後の見通し
日本 日経平均株価(円)	40,487	37,000-43,000
TOPIX(ポイント)	2,853	2,650-3,050

	直近値	6ヵ月後の見通し
米国 NYダウ(米ドル)	44,095	40,000-46,000
S&P500(ポイント)	6,205	5,700-6,500



債券（10年国債利回り）

(単位:%)	直近値	6ヵ月後の見通し
日本	1.420	1.2-1.8

(単位:%)	直近値	6ヵ月後の見通し
米国	4.230	3.9-4.9



リート

(単位:ポイント)	直近値	6ヵ月後の見通し
日本 東証REIT指数	1,779	1,650-1,950

(単位:ポイント)	直近値	6ヵ月後の見通し
米国 S&P米国REIT指数	1,825	1,670-1,970



為替（対円）

(単位:円)	直近値	6ヵ月後の見通し
米ドル	144.03	136-154
ユーロ	169.78	161-179

(単位:円)	直近値	6ヵ月後の見通し
オーストラリアドル	94.79	88-102
ブラジルレアル	26.51	24.5-28.5

注) 見通しは三菱UFJアセットマネジメント。
直近値および見通しは2025年6月30日（直近日休場の場合は前営業日の値）。

出所) S&P、LSEGより三菱UFJアセットマネジメント作成

巻末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」
および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



三菱UFJアセットマネジメント



日本

地政学リスクに翻弄され一時乱高下も急反発

6月(～30日)の日経平均株価は5月末比+6.64%と大幅上昇。月中盤はイスラエルとイランの紛争が激化し中東情勢が悪化、リスク回避姿勢が強まり不安定な相場展開となる場面もありましたが、下旬には両国が暫定的な停戦を発表したことや米中の関税休戦署名報道を受け安心感が広がる中、米半導体大手の好業績発表や株高などを追いつ風に、半導体関連株が株価の上昇をけん引しました。

7月は注目イベント多く神経質な展開に

7月の国内株式市場は注目材料が多く神経質な展開を予想します。目先は米国の上乗せ関税の停止期限である7月9日までに日米関税交渉が合意するかが焦点です。また20日投開票の参院選で与党が過半数を維持できない場合や、30-31日の日銀金融政策会合では政策金利据え置きが濃厚も、展望レポートの経済・物価見通しが大幅に修正された場合は相場の変動要因となりそうです。(大畑)



米国

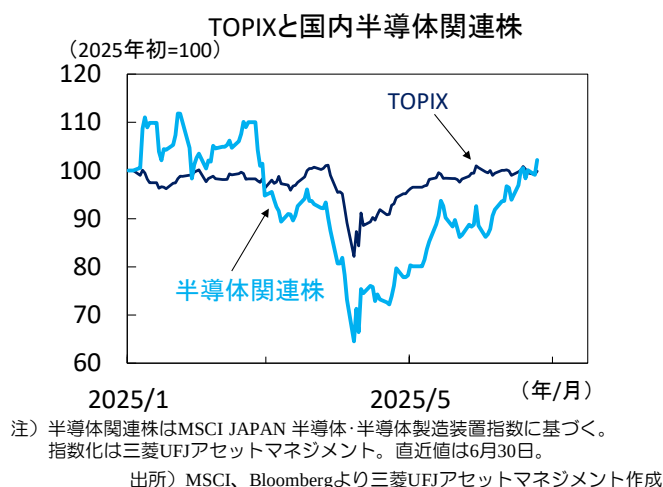
中東情勢が揺さぶるも、堅調に推移

6月のNYダウは前月比+4.3%と上昇しました。月初は、通商交渉の進展期待や、予想を下回る米消費者物価(CPI)などを受け底堅く推移。しかし、イスラエルがイランの核・軍事施設を攻撃したことで株価は下落、月中は中東情勢に神経質な展開が続きました。その後は、中東情勢の緊張が和らいだことや、米金融当局者発言を受け早期利下げ期待が高まったことを材料に上昇に転じました。

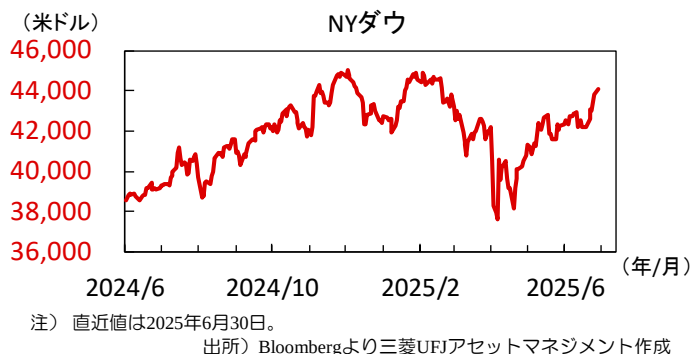
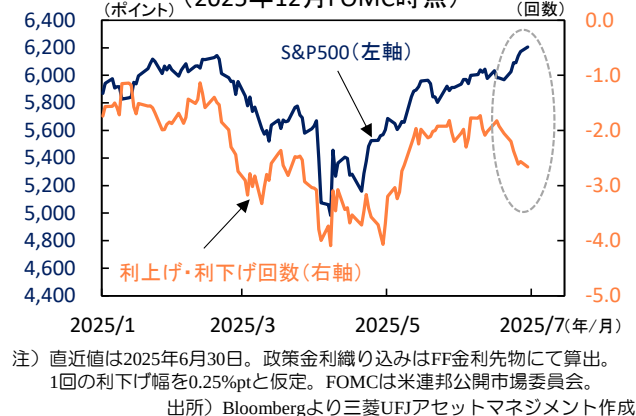
関税を巡る動向に注意も、金融政策が焦点か

米国株式は関税を巡る動向を注視しながらも、景気・物価指標やそれを受けた利下げ期待の変化に敏感な展開が予想されます。雇用の緩やかな悪化や落ち着いたインフレ率が確認されれば、早期利下げ期待が維持されると共に株価も底堅く推移しやすいとみられます。ただし、関税率の再引き上げや雇用の急激な悪化などによる景気懸念から利下げ期待が高まる場合は、先行きの企業の収益懸念が株価を下押すとみており要注意です。(今井)

【図1】半導体関連株がけん引する形で堅調



【図2】利下げ期待の高まりが株価を押し上げ

米国 S&P500株価指数と市場の政策金利織り込み
(2025年12月FOMC時点)



日本

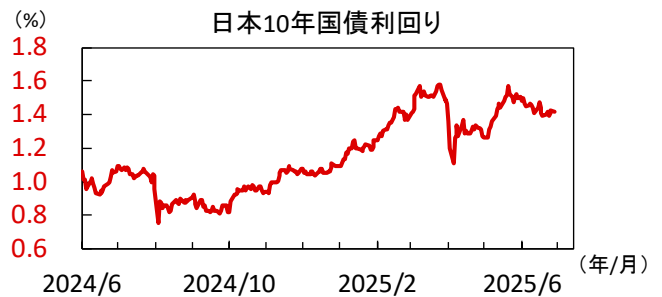
日銀と財務省が国債需給悪化懸念緩和に動く

6月の日本10年国債利回りは5月末比▲0.08%ptと低下しました。日銀は国債の買入れ減額ペースの縮小を決定、財務省も市場予想を上回る規模の超長期国債の発行減額を明らかにし国債需給悪化懸念が後退。また、金融政策会合での植田総裁のハト派姿勢を受け早期利上げ期待が後退したことや、中東情勢悪化に伴う安全資産としての債券需要の高まりも金利低下の要因となりました。

参院選後の財政悪化リスクを警戒する声も

日銀による国債買入れ減額のペースダウンや財務省による国債発行計画見直しにより足元の投資家心理は改善傾向も、先行きは慎重姿勢が強まるとみえます。与党は東京都議選で大敗、7月参院選での過半数割れの可能性が浮上しており、結果次第では消費税減税を主張する野党からの圧力が強まる可能性があります。再び財政悪化を意識した金利上昇リスクに注意が必要です。（大畑）

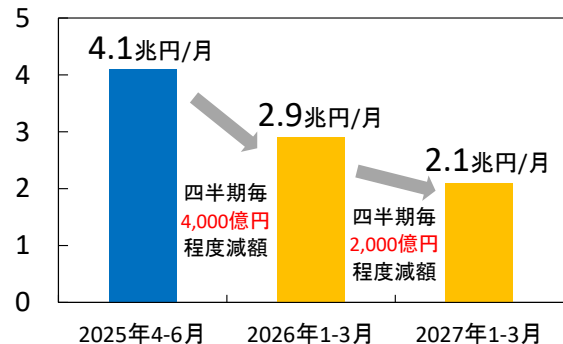
【図3】日銀は国債買入れ減額ペース縮小を決定



注) 直近値は2025年6月30日。

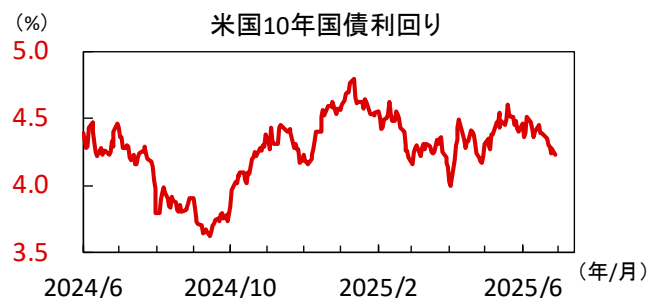
出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

(兆円) 日銀 国債の月間買入れ予定額



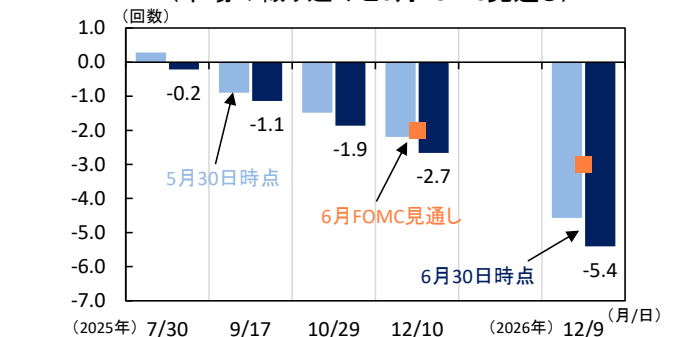
出所) 日本銀行より三菱UFJアセットマネジメント作成

【図4】6月FOMCが示唆する以上の利下げを織り込む



注) 直近値は2025年6月30日。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

米国 2025・26年の政策金利
(市場の織り込みと6月FOMC見通し)

注) 利下げ回数の織り込みは、FF金利先物にて算出。1回の利下げ幅を0.25%ptと仮定。6月FOMC見通しは参加者の中央値。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成



米国

早期利下げを排除しない当局者発言を材料視

6月の米10年国債利回りは前月から低下。月中にかけては、中東情勢を受けた原油高に伴うインフレ懸念に加え、6月米連邦公開市場委員会(FOMC)の政策金利見通し(ドットチャート)で年内据え置きを見込む参加者数が増えたことなどをを受け、金利低下圧力に欠く展開に。その後は、米連邦準備理事会(FRB)高官の早期利下げを排除しない姿勢が利下げ期待を高め、金利を押し下げました。

雇用・物価指標と当局者発言を注視

当面は雇用・物価関連の経済指標に加え、金融当局者の発言に一喜一憂する展開が予想されます。特に雇用指標の急激な悪化が見られた場合、7月FOMCでの利下げ観測が高まるなど、市場の早期利下げ期待が急速に強まる可能性があります。ただし、年後半にかけて物価上昇が確認される可能性が高い点や、既に6月FOMCにて示唆された回数以上の利下げを織り込んでいる点は、今後の金利低下余地を狭めるとみています。（今井）



米ドル

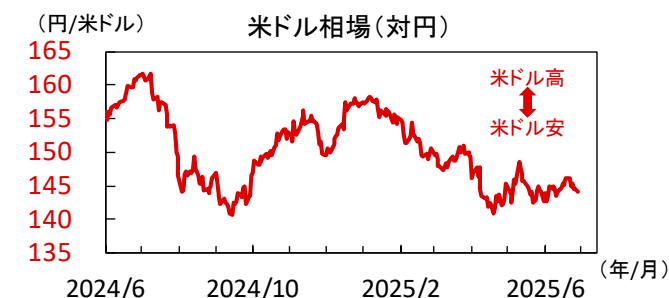
早期利下げ期待が米ドルの重しに

6月の名目実効ドル(貿易加重の主要為替レート)は下落、米ドル円は概ね横ばいとなりました。米ドルは月初は方向感なく推移も、予想を下回った米物価指標を受け下落、その後は中東情勢の緊張が高まる中「有事のドル買い」で強含む場面も見られました。月末にかけては、中東での停戦に向けた動きや米連邦準備理事会(FRB)高官のハト派的(金融緩和に積極的)な発言を背景に下落しました。

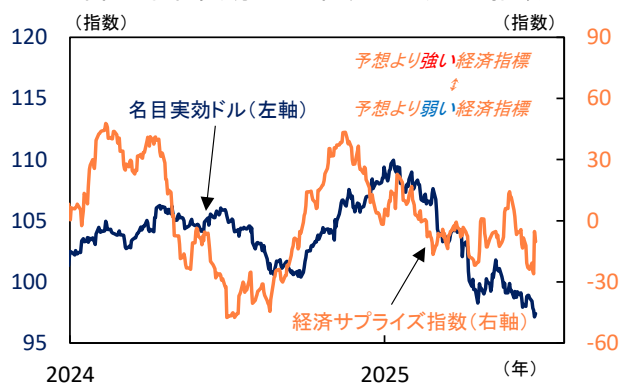
米ドル買い材料に欠ける展開が続くか

米ドルは上値の重い展開が続きやすいでしょう。通商政策面の不透明感や、減税関連法案による財政赤字拡大懸念は、引き続き米ドルの上値を抑える要因になるとみえています。また、米連邦準備理事会(FRB)議長の後任人事の不透明感や、トランプ米大統領がハト派(金融緩和に積極的)な議長を選好している点も重しになるとみえます。一方、予想以上に底堅い米景気指標などが見られた場合は、米ドルの下支え材料となるでしょう。(今井)

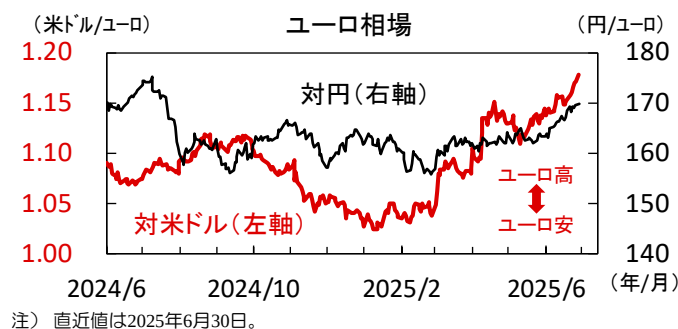
【図5】米景気が底堅さを見せ米ドルを下支えするか？



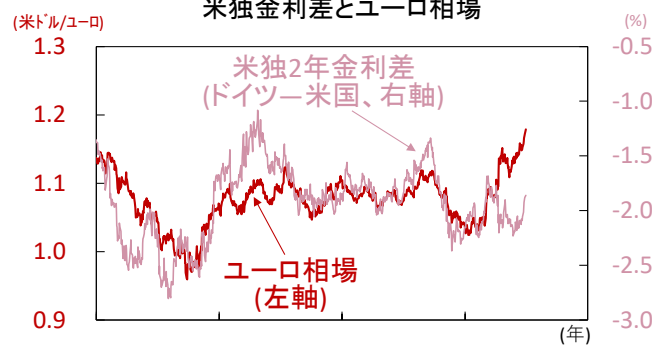
米国 名目実効ドルと経済サプライズ指数



【図6】米利下げ期待が高まり、ユーロ高に拍車



米独金利差とユーロ相場



米利下げ期待が高まり、ユーロ高が一段と進行

6月のユーロ(～30日)は対ドルで+3.9%と大きく上昇。ECBは6月会合で利下げを決定する一方、ラガルド総裁は現行の政策金利水準は良好と指摘し、市場の追加利下げ期待は後退。対照的に、米国では経済指標の軟化やFRB高官発言のハト派化を背景に利下げ期待が高まり、ユーロ高が進みました。対円でも+3.9%と上昇。政策正常化に向けた日銀の姿勢慎重化が材料視されました。

一時的な調整の余地残る

足元では投機筋のユーロ買いが一段と進み、利益確定に伴う一時的な調整の可能性はくすぶります。また、米貿易交渉を経て関税率が引き上げられる懸念は残り、関税政策に伴う駆け込み需要の反動も徐々に顕在化。欧州投資家の資金還流や米ドル離れの動きは続き、ユーロ相場は中長期的に上昇基調を保つとみられるものの、目先、一時的な調整の余地は残りそうです。(吉永)



オーストラリア(豪)ドル

6月の豪ドルは月末にかけ対米ドルで復調

6月の豪ドルは一進一退の後、月末にかけ持ち直す展開でした。月中はイスラエルとイランの交戦、米国の軍事加入など中東情勢の緊張を嫌気する場面もありましたが、両国の停戦合意で落ち着きを取り戻した印象です。他方、豪経済指標では4日の1-3月期実質GDPが低調、19日の5月失業率が横ばい、25日の5月消費者物価が前年比鈍化と緩やかな景気回復・インフレ鈍化が確認されました。

5月に続き7月も追加利下げの公算高まる

7月7-8日の豪中銀金融政策会合では2会合連続の利下げ（政策金利:3.85→3.60%予想）が濃厚です。市場が同会合を含め年内あと0.75%程度の利下げを織り込むなか、同日のブロック豪中銀総裁記者会見や22日の同会合議事要旨から当局の利下げ姿勢を探ることになるでしょう。30日の4-6月期消費者物価からインフレ鈍化基調が確認できれば、8月利下げの思惑も高まりそうです。（瀧澤）



ブラジルレアル

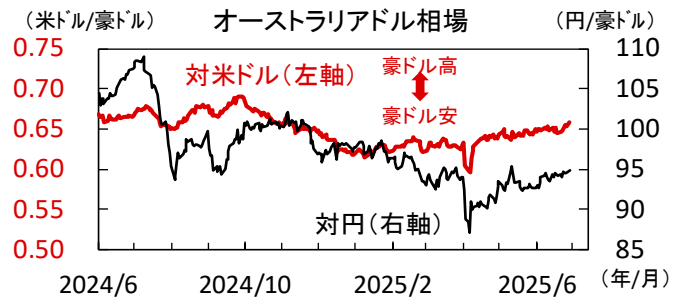
高金利通貨が選好される中で底堅く上昇

レアルは6月に対米ドルで+5.4%と上昇しました。6月19日の金融政策決定会合でブラジル中銀(BCB)は0.25%ptの利上げを決定。メキシコペソと同様に実質金利の高さが意識されレアルは底堅く上昇しました。一方で、25日公表の5月経常収支は輸出の鈍化に伴って赤字幅が前年比で拡大。月末にかけて相場は上げ幅を縮小しました。

財政悪化懸念は残るが、上昇基調を維持か

各国中銀が利下げに動く一方で、BCBは堅調な経済や目標水準を上回るインフレ率を背景に金融引き締めを「とても長い間」継続すると言及しており、当面は高い実質金利がレアルを支える見込みです。ただし、先月から金融取引税増税に伴う政府と議会の対立が続く中で、7月には第三期の財政収支に関する報告書が、8月頃には来年度予算案が、それぞれ発表されます。引き続き財政関連のニュースフローに注意が必要です。（牧）

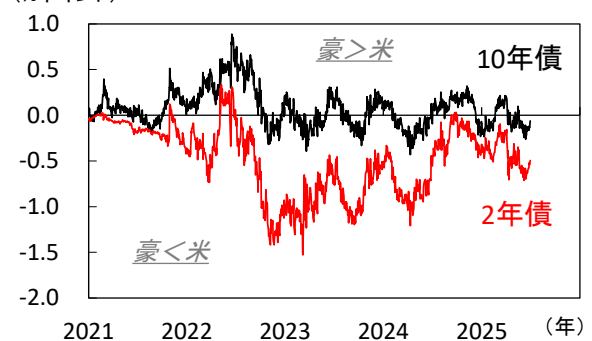
【図7】当面の間、豪州の金利水準は米国に劣後か



注) 直近値は2025年6月30日。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

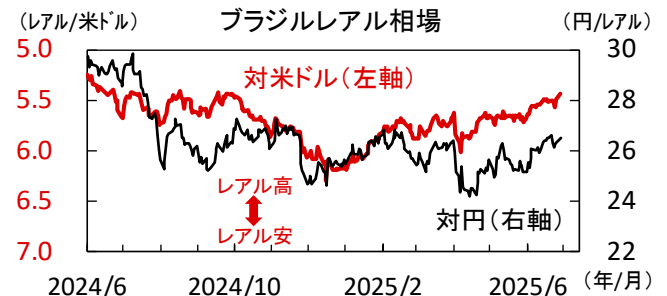
豪米金利差(豪一、二・10年国債)



注) 直近値は2025年6月30日。

出所) LSEGより三菱UFJアセットマネジメント作成

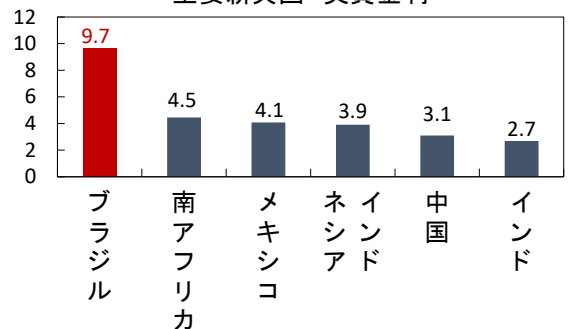
【図8】高い実質金利が通貨を下支え



注) 直近値は2025年6月30日。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

主要新興国 実質金利



注) 2025年6月23日時点。政策金利-インフレ率(前年比)で計算。
中国の政策金利は1年LPRを使用、

出所) 各国中央銀行、Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成



日本

月を通じて上昇基調を維持

6月の東証REIT指数は前月比+2.4%と、3カ月連続で上昇。用途別では倉庫やオフィスが堅調に推移しました。日銀による国債買入れの減額ペース縮小や、財務省の国債発行計画見直しなどをを受け、需給改善期待から長期金利が安定して推移したことがリートを支えました。月末にかけ、米利下げ期待が高まりリスク資産が堅調に推移する中では、株式に対し劣後する場面も見られました。

金利動向を見極めつつ、底堅い推移を期待

日本リートは底堅い推移が期待されるものの、金利動向に警戒が必要とみています。足元で続くオフィス市況の改善や、依然として魅力的な利回り水準はリート価格を支えるとみています。また、日銀や財務省による国債需給に配慮した政策調整は金利安定化に繋がるとみられ、リートには好材料となるでしょう。ただし、参院選に向けた財政拡張への期待などが金利を上昇させ、リート価格を下押しする可能性には要注意です。（今井）



米国

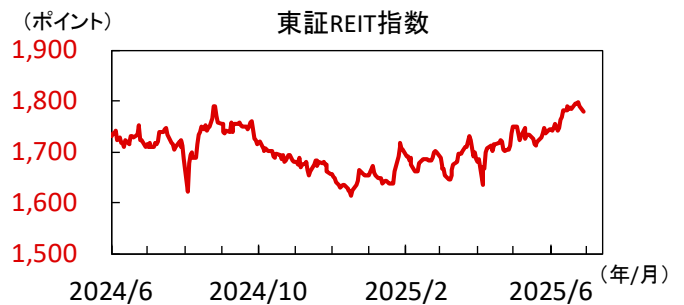
NY市長選が悪材料となり月末に急落

6月のS&P米国リート指数は前月比▲0.6%と下落、用途別ではオフィスなどが堅調であった一方、データセンターなどは軟調に推移しました。月を通じ一進一退で推移も、25日に急落。NY市長選の民主党予備選で企業増税を掲げる急進左派マムダニ氏が指名獲得、同市から企業が撤退するとの思惑から、同市のオフィスを組み入れるリートが下落するなど個別要因も価格を下押ししました。

米国リートは上値の重さが続くか

米国リートは上値が重い展開を見込みます。足元で米連邦準備理事会(FRB)高官が早期利下げを排除しない姿勢を示していることは好材料も、依然金利水準は高く、利回り面からリートが選好されにくい環境は続きやすいとみています。また、足元で稼働率が悪化している点や、収益に対し割高感がある点なども上値を抑えるでしょう。今後価格上昇がトレンドを持つには、米景気軟着陸と早期利下げの確度が高まるが必要とみまます。（今井）

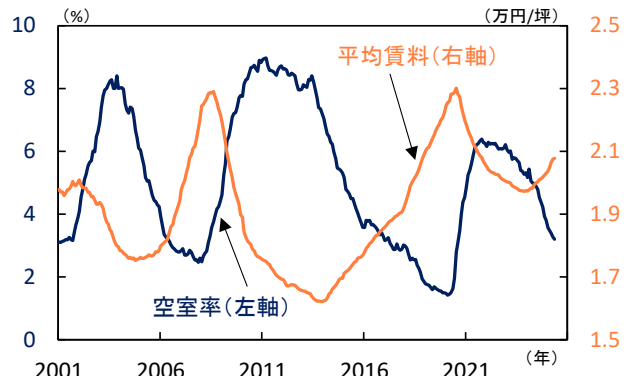
【図9】オフィス市況は改善が継続



注) 直近値は2025年6月30日。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

日本 東京都心5区 オフィス空室率と平均賃料



注) 直近値は2025年5月。都心5区は千代田・中央・港・新宿・渋谷区。

出所) 三鬼商事より三菱UFJアセットマネジメント作成

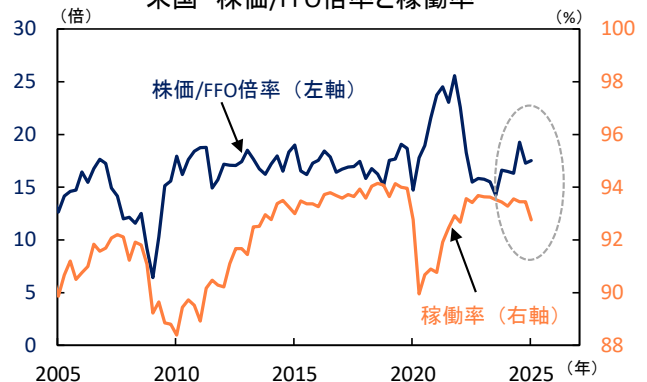
【図10】割高感と稼働率の低下などが重しに



注) 直近値は2025年6月30日。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

米国 株価/FFO倍率と稼働率



注) 直近値は2025年1-3月期。FFOはFunds From Operations。

株価/FFO倍率はAll listed U.S. equity REITs、稼働率はAll Equity REITs。

出所) NAREITより三菱UFJアセットマネジメント作成

● 2025年7月の主要経済指標と政治スケジュール

月	火	水	木	金
6/30 (日) 5月 鉱工業生産(速報) (米) 6月 シカゴ購買部協会 景気指数 (独) 6月 失業者数 (中) 6月 製造業PMI(政府) (中) 6月 非製造業PMI(政府)	7/1 (日) 日銀短観(6月調査) (日) 6月 消費者態度指数 (米) 5月 建設支出 (米) 6月 ISM製造業景気指数 (中) 6月 製造業PMI(財新)	2 (日) 6月 マネタリーベース (米) 6月 ADP雇用統計 (豪) 5月 住宅建設許可件数 (伯) 5月 鉱工業生産	3 (米) 5月 貿易収支 (米) 5月 製造業受注(確報) (米) 6月 労働省雇用統計 (米) 6月 ISMサービス業景気指数	4 (日) 5月 家計調査 (独) 5月 製造業受注 (仏) 5月 鉱工業生産 (英) 6月 新車登録台数
7 (日) 5月 毎月勤労統計 (日) 5月 景気先行指数 (欧) 7月 Sentix投資家信頼感指数 (独) 5月 鉱工業生産	8 (日) 5月 経常収支 (日) 6月 銀行・信金貸出動向 (日) 6月 景気ウォッチャー (米) 6月 NFIB中小企業楽観指数 (独) 5月 貿易統計 (豪) 金融政策決定会合 (豪) 6月 NAB企業景況感指数 (伯) 5月 小売売上高	9 (日) 6月 マネーストック (日) 6月 工作機械受注 (米) FOMC議事録 (6月17-18日分) (米) 5月 卸売在庫(確報) (中) 6月 生産者物価 (中) 6月 消費者物価	10 (日) 6月 国内企業物価 (伊) 5月 鉱工業生産 (英) 6月 RICS住宅価格 (伯) 6月 消費者物価(IPCA)	11 (英) 5月 鉱工業生産
14 (日) 5月 機械受注 (日) 5月 第3次産業活動指数 (中) 6月 貿易統計	15 (米) 6月 消費者物価 (米) 7月 ニューヨーク連銀 製造業景気指数 (欧) 5月 鉱工業生産 (独) 7月 ZEW景況感指数 (豪) 7月 消費者信頼感指数 (中) 4-6月期 実質GDP (中) 6月 鉱工業生産 (中) 6月 小売売上高 (中) 6月 都市部固定資産投資	16 (米) 6月 生産者物価 (米) 6月 鉱工業生産 (英) 6月 消費者物価 (英) 6月 生産者物価	17 (日) 6月 貿易統計 (米) 6月 小売売上高 (米) 6月 輸出入物価 (米) 7月 NAHB住宅市場指数 (英) 5月 失業率(ILO基準) (豪) 6月 雇用統計	18 (日) 6月 消費者物価(全国) (米) 6月 住宅着工・許可件数 (米) 7月 ミシガン大学 消費者信頼感指数(速報)
20 (日) 参議院議員選挙	22	23 (米) 6月 中古住宅販売件数 (豪) 6月 景気先行指数	24 (日) 7月 製造業PMI (日) 7月 サービス業PMI (米) 6月 新築住宅販売件数 (米) 7月 製造業PMI(速報) (米) 7月 サービス業PMI(速報) (欧) 欧州中央銀行(ECB)理事会 (欧) ラガルドECB総裁記者会見 (欧) 7月 サービス業PMI(速報) (独) 8月 GfK消費者信頼感指数	25 (米) 6月 耐久財受注 (米) 6月 製造業受注(速報) (欧) 6月 マネーサプライ(M3) (独) 7月 ifo景況感指数 (英) 6月 小売売上高 (英) 7月 GfK消費者信頼感指数
21 (米) 6月 景気先行指数				
28 (印) 6月 鉱工業生産	29 (米) 連邦公開市場委員会 (FOMC、～30日) (米) 5月 S&P375/シカゴ ケース・シャー住宅価格指数 (米) 6月 卸売在庫(速報) (米) 7月 消費者信頼感指数 (コンファレンス・ボード)	30 (日) 日銀金融政策 決定会合(～31日) (米) パウエルFRB議長記者会見 (米) 4-6月期 実質GDP (1次速報) (米) 6月 中古住宅販売仮契約指数 (米) 7月 ADP雇用統計 (欧) 4-6月期 実質GDP(速報) (欧) 7月 消費者信頼感指数 (欧) 7月 ユーロ圏景況感指数 (独) 4-6月期 実質GDP(速報) (加) 金融政策決定会合	31 (日) 植田日銀総裁定例記者会見 (日) 6月 鉱工業生産(速報) (日) 6月 小売売上高 (日) 7月 消費者態度指数 (米) 6月 個人所得・消費 (米) 7月 シカゴ購買部協会 景気指数 (独) 7月 失業者数 (豪) 6月 住宅建設許可件数 (中) 7月 製造業PMI(政府) (中) 7月 非製造業PMI(政府)	8/1 (日) 6月 労働関連統計 (米) 6月 建設支出 (米) 7月 労働省雇用統計 (米) 7月 ISM製造業景気指数 (米) 7月 ミシガン大学 消費者信頼感指数(確報) (中) 7月 製造業PMI(財新) (伯) 6月 鉱工業生産

注) (日) 日本、(米) 米国、(欧) ユーロ圏、(独) ドイツ、(仏) フランス、(伊) イタリア、(英) 英国、(豪) オーストラリア、(加) カナダ、
(中) 中国、(印) インド、(伯) ブラジル、を指します。日程および内容は変更される可能性があります。

出所) 各種情報、Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

注) 直近値は2025年6月30日

株式 (単位:ポイント)		直近値	5月末	騰落率%
日本	日経平均株価 (円)	40,487.39	37,965.10	6.64
	TOPIX	2,852.84	2,801.57	1.83
米国	NYダウ (米ドル)	44,094.77	42,270.07	4.32
	S&P500	6,204.95	5,911.69	4.96
	ナスダック総合指数	20,369.73	19,113.77	6.57
欧州	ストックス・ヨーロッパ600	541.37	548.67	▲ 1.33
ドイツ	DAX® 指数	23,909.61	23,997.48	▲ 0.37
英国	FTSE100指数	8,760.96	8,772.38	▲ 0.13
オーストラリア	S&P/ASX200指数	8,542.27	8,434.71	1.28
香港	ハンセン指数	24,072.28	23,289.77	3.36
中国	上海総合指数	3,444.43	3,347.49	2.90
インド	S&P BSE SENSEX指数	83,606.46	81,451.01	2.65
ブラジル	ボベスパ指数	138,854.59	137,026.62	1.33
先進国	MSCI WORLD	4,026.44	3,863.48	4.22
新興国	MSCI EM	1,222.78	1,157.34	5.65
新興アジア	MSCI EM ASIA	672.79	635.41	5.88

国債利回り (単位:%)		直近値	5月末	騰落幅%
日本	10年物	1.420	1.500	▲ 0.080
米国	10年物	4.230	4.403	▲ 0.173
ドイツ	10年物	2.607	2.500	0.107
英国	10年物	4.489	4.647	▲ 0.158
カナダ	10年物	3.274	3.200	0.074
オーストラリア	10年物	4.162	4.258	▲ 0.097
ニュージーランド	10年物	4.535	4.566	▲ 0.031
中国	10年物	1.648	1.700	▲ 0.052
インド	10年物	6.318	6.287	0.031
インドネシア	10年物	6.616	6.825	▲ 0.209
ブラジル	10年物	13.526	14.021	▲ 0.495
メキシコ	10年物	9.295	9.322	▲ 0.027
南アフリカ	10年物	9.949	10.138	▲ 0.189
トルコ	10年物	29.130	31.165	▲ 2.035

リート (単位:ポイント)		直近値	5月末	騰落率%
日本	東証リート指数	1,778.87	1,736.74	2.43
米国	S&P米国REIT指数	1,824.75	1,834.89	▲ 0.55
欧州	S&P欧州REIT指数	835.94	835.21	0.09
オーストラリア	S&P豪州REIT指数	1,308.25	1,287.20	1.64

為替 (対円) (単位:円)		直近値	5月末	騰落率%
米ドル		144.03	144.02	0.01
ユーロ		169.78	163.46	3.87
英ポンド		197.81	193.91	2.01
カナダドル		105.85	104.94	0.86
オーストラリアドル		94.79	92.66	2.30
ニュージーランドドル		87.80	85.95	2.15
中国人民元		20.130	19.983	0.74
インドルピー		1.6831	1.6833	▲ 0.01
インドネシアルピア (100ルピア)		0.8870	0.8823	0.53
タイバーツ		4.4386	4.3814	1.31
マレーシアリンギ		34.266	33.835	1.27
ブラジルレアル		26.510	25.173	5.31
メキシコペソ		7.684	7.411	3.67
南アフリカランド		8.130	8.003	1.59
トルコリラ		3.61	3.67	▲ 1.49
ロシアルーブル		1.8394	1.8612	▲ 1.17

政策金利 (単位:%)		直近値	5月末	騰落幅%
日本	無担保コール翌日物金利	0.50	0.50	0.00
米国	FF目標金利 (上限値)	4.50	4.50	0.00
ユーロ圏	リファイナンスレート	2.15	2.40	▲ 0.25
英国	バンクレート	4.25	4.25	0.00
カナダ	オーバーナイト・レート	2.75	2.75	0.00
オーストラリア	キャッシュレート	3.85	3.85	0.00
ニュージーランド	キャッシュレート	3.25	3.25	0.00
中国	1年物最優遇貸付金利	3.00	3.00	0.00
インド	レポレート	5.50	6.00	▲ 0.50
インドネシア	7日物リバース・レボ金利	5.50	5.50	0.00
ブラジル	SELIC金利誘導目標	15.00	14.75	0.25
メキシコ	オーバーナイト・レート	8.00	8.50	▲ 0.50
南アフリカ	レポレート	7.25	7.25	0.00
トルコ	1週間物レボ金利	46.00	46.00	0.00

商品 (単位:ポイント)		直近値	5月末	騰落率%
原油	WTI先物 (米ドル)	65.11	60.79	7.11
金	COMEX先物 (米ドル)	3,307.70	3,288.90	0.57
工業用金属	ブルームバーグ商品指数	148.51	140.97	5.35
穀物	ブルームバーグ商品指数	30.02	30.72	▲ 2.26

注) 株式は現地通貨 (MSCIは米ドル) ベース、リートは現地通貨ベース (米国・欧州・オーストラリアは配当込み指数)、商品は米ドルベース。
 FF目標金利はレンジ上限値を表記。原油は1バレル当たり、金は1オンス当たりの価格。
 直近値および前月末値のデータがない場合 (休場など)、それぞれ前営業日の値を表示。

出所) MSCI、S&P、Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

巻末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」
 および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



三菱UFJアセットマネジメント

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。（作成基準日：2025年7月1日）
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント ストラテジック・リサーチ部リサーチグループの見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。

FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。

MSCI WORLD、MSCI EM、MSCI EM ASIAに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）およびブルームバーグ（Bloomberg®）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、三菱UFJアセットマネジメントによる一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、三菱UFJアセットマネジメントの関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、三菱UFJアセットマネジメントが運用するファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

S&P先進国REIT指数はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P DJIはS&P先進国REIT指数、S&P新興国REIT指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会